

## 平成30年度「北九州港セミナーin 東京」の開催について

北九州市・北九州港航路集貨対策委員会は、東京の経団連会館にて、「平成30年度北九州港セミナーin 東京」を開催しました。本セミナーは、在京の荷主や船社、物流事業者等を対象に、官民一体となって北九州港のPRと利用促進を図るため、昭和63年より開催しており、今回で30回目の節目を迎えました。

第1部では、株式会社ブリヂストンの入江北九州工場長を講師に迎え、「ブリヂストンの北九州における取り組み」と題し、大型タイヤを生産する北九州工場の概要や、北九州港の活用状況についてご講演をいただきました。次に、北橋市長より、風力発電総合拠点化等を目指す「グリーンエネルギーポートひびき」事業の現状について、近年の市政動向を交えながら紹介を行った後、木本港湾空港局長からは、北九州港と北九州空港の最新の状況についてプレゼンテーションを行いました。また、第2部ビジネス交流会については、多数お越し頂き、盛況のうちに閉会することができました。

これからも、北九州港をより多くの方に知っていただき、更なる利用促進に繋げてまいります。

【主催】 北九州市、北九州港航路集貨対策委員会

【共催】 北九州港振興協会、関門港運協会、小倉地区港運協会、洞海港運協会、八幡港友会、北九州商工会議所、北九州空港国際航空貨物推進協議会

【日時】 平成30年10月31日（水）16時から19時

【会場】 経団連会館（東京都千代田区大手町1丁目3-2）

【参加者】 200団体・約550名

※ セミナーの様子



① 入江工場長講演



② 北橋市長プレゼン



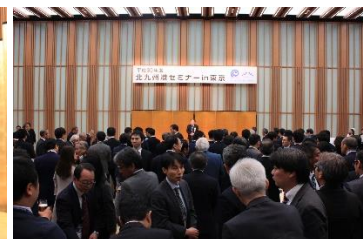
③ 木本局長プレゼン



④ 講演会全景



⑤ 野畑関門港運協会会長開会挨拶



⑥ 交流会全景



⑦ 交流会全景



⑧ 抽選会



⑨ 岡部洞海港運協会会長閉会挨拶